

館の運営方針	歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高め、誰もが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。
ジャンルの目標	
中央公民館利用団体に対して、グループ・サークル会員が自主的に活動できるよう支援するとともに、グループ・サークル同士の交流を図る。また、地域の子ども会活動に対する支援を行うとともに、市民カレッジのまちづくりの事業から誕生した団体「さくらっ古」「子都手留会」に対して、佐倉学を普及するための支援を継続する。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	佐倉地区子ども育成会連絡協議会	佐倉地区子ども育成会連絡協議会は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係団体との調整を図り、各子ども会の健全な発展に寄与することを目的としている。中央公民館は事務局としての役割を担っており、子ども会安全会等の申し込みの受付、佐倉市子ども育成会連盟との連絡、備品の貸与等を行っている。少子化等の影響を受け加盟団体は少ないながらも、地区子連の活動は地道に行われている。
②	中央公民館利用グループ懇談会	定期的に公民館を利用するグループ・サークルを対象に、公民館の利用内容等に関する説明を行い、グループ・サークル間の交流を図っている。公民館を市民の「集まる、学ぶ、つなぐ」場として利用してもらい、学習した成果を地域発展のために活用することを認識してもらいたいとして事業を行う。
③	中央公民館調理室利用者懇談会	定期的に調理室を利用するグループ・サークルを対象に、中央公民館側から調理室の利用に関する説明を行い、清掃・調理備品の点検等を共に行う。グループ・サークル間の交流を図っている。また、グループ・サークル側が調理室の効率的な使用と衛生管理を認識してもらいたいとしている。
④	佐倉民話を語るボランティア派遣事業 佐倉子どもかるた普及事業	佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と佐倉こどもかるた「子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話や佐倉こどもかるたを通して、佐倉学の普及をはかり子どもたちの郷土愛を育む。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	実施しての課題と展望策	佐倉市内の小学校等に継続して周知されていて、活動への要請は多くあるが、メンバーの高齢化と人数減があるため全てに対応できない。人材確保と育成の必要性がある。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価	
B	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。
	成果 「さくらっ古」及び「子都手留会」の活動は、小学生に佐倉学を普及するための手段として認知されている。毎年、教育センターを通じて、市内小学校へ「おはなし会」や「かるた会」の派遣依頼を取りまとめられているが、少しずつ依頼が増えている。また、毎年夏休みに実施している「子どもの居場所」事業では、公民館を利用しているグループ・サークルの方が講師となって、子どもたちの指導をいただいている。
	課題 「さくらっ古」「子都手留会」については、会員数が限られているので、派遣希望があっても対応できない場合がある。公民館利用グループ・サークルのうち、「子どもの居場所」事業に協力いただけるサークルが固定化している。

★公民館運営審議委員意見

委員①	★事例発表の事業について ・派遣要望が多いと言うことは、それだけ学校や子どもからの需要があることなので、是非とも期待に応えられるようにしてほしい。
総合評価	A

委員②	★事例発表の事業について ・佐倉の民話及び佐倉子どもかるたのボランティア団体派遣事業 公民館と教育センターが連携して派遣事業を実施しているのは、窓口がはっきりして依頼しやすいので大変良かったと思います。一人でも多くの子ども達に、楽しく佐倉の民話などを学んで欲しいと思います。その機会をこのまま提供してってください。 ・今後も継続をしていただきたい事業ですので、人材の育成を検討してください。
総合評価	A

委員③		★事例発表の事業について 【佐倉の民話及び佐倉子どもかるたのボランティア団体派遣事業】
総合評価	A	<p>佐倉に伝わる民話を語り継ぐ「さくらっ古」、かるたを通じて佐倉の郷土や文化を学ぶきっかけを提供する「子都手留会」は共に、市民カレッジメンバーが創設したものと聞く。市民カレッジの果たしている役割の大きさを感ずるが、その活動の大きさが情報として伝わっていないのは残念である。</p> <p>この2団体とも、派遣要請が増加している一方で、メンバー不足等で要望に応えきれないとのことであり、事業内容や成果を考えたときに、実に残念でならない。何よりも小学生を対象に活動されており、最も吸収力の高い、感性も豊かな、好奇心にも富む小学生の学習要望全てに応えていただきたいと望むものである。</p> <p>団体育成の基本は、団体自らが主体的に地域で活動していくようにすることが意義とされており、自主的な活動を継続していくように必要な支援を行うということとされている。このためにも、公民館の持つ情報発信力や各種サークル情報を活用するなど、可能な限り、市民活動団体へのより一層の公民館の積極的な支援を期待したい。</p>

委員④		★事例発表の事業について
総合評価	A	<p>「さくらっ古」「子都手留会」の活動は市内小学校に派遣、各種イベント等にも参加されてメンバーの息の合ったチームワークと高齢化が進んだとは言えその行動力には敬意を表します。</p> <p>今の子どもたちの遊びが孤立化しつつあるなかで、昔話や伝承遊びに触れることは、友達と一緒に異年齢との交流もすることで更に社会性の発達や心の豊かさが育まれると思います。</p> <p>高齢化と人材確保は大きな課題ではありますが、益々活躍の場が広がるようお力添えしていただきたいと思います。</p>

委員⑤		★事例発表の事業について
総合評価	A	<p>「佐倉の民話及び佐倉子どもかるたのボランティア団体派遣事業」</p> <p>ボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を小学校に派遣し佐倉に伝わる民話や佐倉こどもかるたを通して郷土愛を育む事業として良い企画であります。団体の派遣回数も右肩上がりであり、今後も市民カレッジOB・教育センターとの連携を密に展開されることを希望します。</p>

委員⑥		★事例発表の事業について
総合評価	A	<p>・自身の子育ての中でも「子都手留会」とのかかわりがあり、親子共々佐倉学に親しむ事ができた。「さくらっ古」も同様だが異世代間交流ができることもすばらしく思う。市民カレッジの中から、継承、広め手という活動グループが新たに生まれてきたらうれしく思うが・・・。</p>

委員⑦		★事例発表の事業について
総合評価	A	<p>「さくらっ古」「子都手留会」の活動は、前者は佐倉に伝わる民話を後者はかるたを通して、それぞれ佐倉の文化や歴史を子どもたちに伝える大きな目的を持っていると思います。</p> <p>さらに多くの小学校にスタッフを派遣できる態勢を考えて下さい。子どもたちの郷土愛を育む事業として大いに応援したい。</p>

委員⑧		★事例発表の事業について わかりやすく短時間で内容が伝わった 調理室を利用者と職員と一緒に点検を行うことは主催者、利用者の意思疎通が図れて非常に良い事だと思う。 他の活動でもグループ間で相互にチェック、確認等が出来ないか工夫する余地がある。
総合評価	B	

委員⑨		★事例発表の事業について ○「佐倉学」入門に果たしている役割は大きいと思われるし、その活動が講師の生き甲斐?になっているのもありがたい。 ○ 通学合宿で生かされているのも素晴らしい。
総合評価	A	

委員⑩		★事例発表の事業について 「さくらっ古」「佐倉こどもかるた子都手留会」は 佐倉市の歴史や文化を知り 郷土愛を育む良い機会です。 出来たら 市内の小学生全員に 1回は参加してもらおう 教育センターを通じての他 町内会・自治会等と 連携して 民話伝承やカルタ会を実施して欲しい。 高校生・大学生等の 講師参加も推進したい。
総合評価	A	

委員⑪		★事例発表の事業について 各小学校、教育センターとの連携等、職員のみならず事前のこまごまとした点でも大変ですが、小学校への派遣も増え、参加人数も多く、またアンケートの評価も良く、成果をあげていると思います。 地道な事業ですが、子供たちに「佐倉の心」の太い幹を育てるために、今後も頑張ってください。
総合評価	A	

委員⑫		★事例発表の事業について 佐倉のこどもかるた。 だいぶ知られてきて、良いことだと思います。 引き続き、広めてほしいと思います。
総合評価	A	

委員⑬		★事例発表の事業について 佐倉学に関連する団体を数多く育成していただいております、とてもよいと思います。
総合評価	A	